

第4回組織開発ラボトリー

Diagnosing Organizations with Impact

影響力のある組織診断

担当者	ジュリー・ヌーラン(Julie A.C. Noolan ph.D.)氏 (NTL Instituteメンバー) ※通訳付き 中村和彦 (南山大学人文学部心理人間学教授)
概要	<p>【組織開発ラボトリーの概要】</p> <p>組織開発 (OD: Organization Development) の源流はTグループにあります。1950年代の終わり頃より、Tグループのトレーナー達が、グループへの働きかけの知識やスキルを、企業のミーティング場面でのチーム・ビルディングに応用していったのが、組織開発の始まりでした。組織開発とは、組織の効果性と健全性を高めることをめざした、計画的で長期的な変革の実践であり、組織文化や人的要因 (やる気や満足度、コミュニケーション、人と人との関係性、協働性、リーダーシップ、規範など) のプロセスに働きかけるための理論や手法の体系です。コーチング、ファシリテーション、チーム・ビルディング、プロセス・コンサルテーション、フューチャーサーチ、ワールドカフェ、AIなど、個別の手法として日本に紹介・導入されているものも、米国においては組織開発 (OD) の歴史と体系のもとに発展してきました。組織開発の発展には、NTL Instituteのメンバー (シャイン、ベックハート、アージリス、パークなど) が貢献してきました。</p> <p>日本においてTグループを長年実施してきた当センターとして、米国における組織開発の理論と実践について「ラボトリー」として体験から学ぶトレーニングを日本で実践することも重要なミッションであると考えています。そのミッションを実現するために、当センターでは、米国NTL Instituteとのパートナーシップに基づき、組織開発の専門家をもとに招聘して、組織開発について体験から学ぶ5泊6日のラボトリーを開催しています。</p> <p>今年度の組織開発ラボトリーでは、米国NTL Instituteのメンバー、ジュリー・ヌーラン氏をお招きし、「影響力のある組織診断 ("Diagnosing Organizations with Impact") 」というタイトルで実施します。</p> <p>【今年度の組織開発ラボトリーの概要】</p> <p>今年度の「第4回組織開発ラボトリー」は、米国NTL Instituteのメンバー、ジュリー・ヌーラン氏をお招きし、「影響力のある組織診断」というタイトルで実施されます。ジュリー・ヌーラン氏は豊かな経験をもつ組織開発コンサルタントであり、NTLが主催する組織開発の研修のトレーナーを長年担当されてきました。また、NTLが2006年に発行した本「The NTL Handbook of Organization Development and Change」の「組織診断のフェーズ」の章を執筆しています。</p> <p>今回実施される「影響力のある組織診断」は、NTLの「組織開発修了証プログラム」で、第3ステップの研修として位置付けられているものです。</p> <p>本研修の前半では、参加者の皆さんがいくつかのチームに分かれ、1つのチームが1つの診断モデルを担当し、そのモデルに則って実際のクライアントにインタビューを行います。(実際のクライアントさんに研修会場に来ていただきます) さらに、インタビューのデータから診断を行い、クライアントにフィードバックを行います。この一連の過程を通して、組織診断について体験から学びます。</p> <p>本研修の後半では、参加者各自がオリジナルの組織診断モデルを創ることに取り組みます。</p> <p>組織を診断する際には、質問紙法のアセスメント・ツールを用いて実施されることもあります。本研修では、組織開発において典型的に用いられることが多い、インタビュー法により組織の現状を把握していくアプローチが中心となります。この過程は、組織 (企業) 内部の変革推進者や人事担当者、マネージャーが、ある部署や組織内の現状を把握しようとする際に役に立ちます。</p> <p>日本では、組織開発における「組織診断」について学ぶ機会ほとんどありません。部署や組織のプロセスを把握し診断するアプローチや考え方を学びたい方々、組織変革のコンサルティングに携わる方々、組織内部の変革推進者 (チェンジ・エージェント) や人事担当者、組織開発について体験から学びながら理解を深めたい方々に最適な講座です。</p>
日程	2013年2月16日 (土) ~2月21日 (木) 5泊6日
定員	21名
参加資格	組織開発コンサルタント、ファシリテーター、マネージャーやリーダーなど、組織開発の支援や実践に携わっている方。なお、全体会での小講義や実習の際には通訳がなされます。 ※当センターの受講歴などの参加資格は特に設けていません。
会場	丸紅多摩センター研修所 〒192-0363 東京都八王子市別所2丁目39番2
受講料	受講料 180,000円 (税込) ※本講座は、受講料割引は適用されません。 滞在費: 65,100円 (税込) (宿泊費・食費等) ※居室は全てシングルです。 ◎受講料、滞在費を事前にご入金いただきます。
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">コーディネーター 中村和彦 記</p> <p>第4回組織開発ラボトリーは、米国NTL Instituteメンバーで組織開発・組織診断の専門家のジュリー・ヌーラン氏を招聘し、「影響力のある組織診断 (Diagnosing Organizations with Impact) 」というタイトルで実施されました。「影響力のある組織診断」は、NTLの組織開発サートフィケート・プログラムで、第3ステップの研修として位置付けられているものです。NTLが実施しているのと同じ内容のプログラムが、通訳付きで実施されました。会場は丸紅多摩センター研修所、参加者は11名でした。</p> <p>講座の前半では、まず、組織開発や組織診断の概要について説明がなされました。次に、参加者の皆さんが4つのチームに分かれ、1つのチームが1つの診断モデルを担当しました。それぞれのモデルに則って、講座3日目の午前中に、実際にクライアント役の企業様にインタビューを行いました。そのデータを整理し、その日の夕方にクライアント役の社員の方々に対してフィードバックを行いました。</p> <p>講座の後半では、参加者の皆さんがオリジナルの組織診断モデルを創り、適用したい状況やそのモデルについてプレゼンテーションを行うことを通じて、組織のプロセスを捉える視点や方法についてともに学びました。参加者の皆さんは、プレゼンテーション前日の夜12時頃まで熱心に取り組みられていて、その「熱さ」が伝わってきました。</p> <p>今回は参加者数が定員よりも少なかったですが、組織開発に携わる方が多く、非常に集中度が高い講座となりました。熱心かつ創造的に講座実施に取り組んでくださったジュリーさん、クライアント役としてご協力いただいた企業様、通訳を担当していただいた溝口良子さん、渡邊昭子さんに感謝申し上げます。</p>